

古殿杉の山と森を未来へ!



高輪ゲートウェイ駅

古殿杉がJR山手線 高輪ゲートウェイ駅に採用!

古殿杉に注目が集まる出来事がありました。2020年、JR山手線に開業した高輪ゲートウェイ駅構内の梁(はり)に古殿産の杉が採用されたというニュースです。震災復興支援の意味合いもありましたが、東北の数ある産地のなかで古殿杉が選ばれた理由は、「山の手入れが行き届き、良質な木材が確保できる」という建設関係者の勧めからでした。

10年前、震災をきっかけに家業を継いだ水野さんのもとには、林業を志す若手が集まり始めています。「山を守る仕事は、古殿の自然や暮らしの文化を守ることにつながる」と思っています。だから、祖父や父が必死に守ってきた山と木を、自分たちの世代だからできる方法で受け継いでいくつもりです。



整然と並ぶ杉林。先人たちが代々汗を流して植林した育成林

日本の暮らしを支えてきた杉

日本が高度成長期を迎えた昭和30年代。古殿が林業のまちになったのも、この頃です。この頃は産業振興課の日浦さん。3代にわたる林業を営む水野林業の水野さんも「祖父が創業したのは、昭和40年。林業を事業としてはじめたのは比較的早かったと聞いています。当時、植林された杉は樹齢40〜50年。用途にもよりますが、柱材では出荷の適齢期を迎えます。

古殿杉に触れる場を広げたい

現在、古殿町の人工林率は県内トップ、丸太素材の生産量は県内2位。林業に携わる人の割合が多く、他に引けを取らない素材



生産量をキープしてきました。しかし、その良さは関係者が経験的に知るのみで、長い間、品質を裏づける指標を持っていませんでした。「それが、8年前に初めて強度試験が行われ、古殿杉が他産地に負けない優れた剛性粘りがあり歪みにくい性質を持つことが分かりました」と日浦さん。これをきっかけに古殿杉を広く知ってもらおうという気運が町に芽吹きます。

その一つが、組手什です。間伐材や端材を使い、同じ規格に加工したカット材を組み合わせることで多様な使い方ができるキットで、昨年度からは、ふるさと納税の返礼品にもなりました。他にも、町では「少しでも杉に触れる環境」と割箸やストラップなどを作りイベントの記念品として活用。今年度は、一般的なヒノキ材ではなく、古殿杉を使った鉛筆づくりに挑戦しているところです。



古殿杉の山と森を未来へ!

古殿町はどこにいても深緑の山が近くに迫り、三角錐の樹形やまっすぐに伸びた幹が一つくしく連続する風景が目に飛び込んできます。古殿を象徴するこの景色を形作っているのが「古殿杉」です。

01 山の仕事・森の楽しみを創る人たち

人と山の距離をもっと近づけたい!

震災後Uターンし、山の仕事を学ぼうと、祖父や父が汗をかき育ててきた山を守ることに古殿を守ることだと思ふようになった。ただ、この仕事の価値を多くの人に知ってもらう必要があるとも感じます。そこではじめたのが森林サウナ(現在は休止中)。今年は、森林レンタルもスタートしました。道の駅では古殿杉で作ったプレートの販売もしています。木に触れ、山と生きる古殿の人や地域の良さを感じてもらうことが、古殿杉の価値を高め、町や林業の価値を高めていくことにつながると思っています。

02 古殿は人の優しさで自然の恵みがめぐる場所

人の手が入らず荒れていく山の存在を知り、「林業をやりたい!」この仕事に飛び込みました。林業が3Kと呼ばれることは、入ってから知りました。「汚い」はそれぞれに受け止め方がありますが、「キツイ」「危険」は先輩たちから「経験や知識をかさねることで乗り越えるもの」と学んでいるところです。古殿は、地元への愛着が深く優しい人が多く、人と山の恵みがつながって循環しているような町です。ここで、山と地域にお客様に安心してもらえる林業家をめざして頑張っています!



チェンソーアート文化祭2022
2022年10月29日(土) 9:00~16:30
会場/古殿町民体育館 やぶさめアリーナ

◆一般カービング 9:30~
◆城所ケイジチェンソーアートショー ①10:30~11:30 ②13:30~14:30
古殿町チェンソーアートクラブのメンバーが古殿杉で様々な作品を作り上げます。恒例の「巨大干支チェンソーアート」のモチーフは来年の干支ウサギ。クラブメンバーによる制作や城所ケイジ氏によるチェンソーアートショーなど楽しみが盛りだくさんです!

問/チェンソーアート文化祭実行委員会 TEL.0247-53-4613 古殿町役場産業振興課内

チェンソーアートクラブ
水野武雄さん

今年のモチーフはウサギ! 世界的な技をぜひ楽しんで10数年前、城所ケイジさんがチェンソーアートで世界的に有名な人と紹介されました。私や仲間たちは、山や森の管理をしてきた。間伐材はあるし、チェンソーなら任せろ、とクラブを發足したのですが、月一回の練習をはじめたらこれが難しい(笑)それから毎年、文化祭で城所さんが翌年の干支を彫刻することが恒例になりました。いまでは全国からチェンソーアートファンが訪れるように。今年は3年ぶりの開催です。会場ぜひ、城所さんの素晴らしいパフォーマンスを楽しんでください!



組手什
くてもじゅう

古殿杉の組手什。組み方次第でさまざまな用途に応用できる。熊本地震の際、避難所で使われたことでも話題に。「ウッドデザイン賞2016」奨励賞(審査委員長賞)を受賞。



▶上:カッティングボード
下:木製やぶさめくんストラップ

林業のまち古殿を盛り上げるため、古殿杉のブランド化をめざしていきます!

古殿町産業振興課 日浦祐介さん